

令和2年度 経営協議会における学外委員からの意見とその対応

開催日	学外委員からの質疑・意見	その後の対応・検討状況
<p>令和2年度 第1回 令和2.6.26 (金)</p>	<p>教職大学院認証評価自己評価書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職大学院の定員充足問題について、どのように考えているか。 ○ 学びたい意欲を持つ教員に対して、これを叶える体制を教育委員会を通じて整備していかなければならない。 ○ 社会の変化に応じて、これに対応するカリキュラムを提供することが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職大学院を設置していない大学からの「特別選抜」を実施する連携協定の締結を進めて、協定大学を増やしていく予定である。今年度は2月に1大学と連携協定を締結し、年度末までに1大学と締結予定である。 ○ 今後、現職教員派遣人数を含めて教育委員会と協議調整を進めていく予定である。 ○ 教職大学院改組の際に、現在の教育課題に対応できる「地域・教育課題解決コース」の設置や共通科目の設定（科目名称「Society 5.0に向けたAI活用のできる人材育成」など）としているが、今後も受講生の意見を取り入れて改善していく予定である。